

さるびあ

2014年
(平成26年)5月
第17号

運営理念
つながる
"きずな"
広がる
"笑顔"
あなたらしさの
お手伝い



発行 社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
洲本市五色健康福祉総合センター

TEL (0799) 33-0503 FAX (0799) 33-0318
〒656-1331 兵庫県洲本市五色町都志大日707

ご あ い さ つ

センター長 倉 谷 啓 子

色とりどりの花々が咲き乱れる心地よい季節となりました。

洲本市からの指定管理を受けて六度目の春を迎えます。この間、無事に運営を進められましたのは、ご利用者をはじめ、ご家族、関係機関、地域の皆様方の多大なるご理解、ご協力のお陰と心より感謝申しあげます。

さて、この四月から八%となつた消費税の影響を受け介護保険の報酬単価が改正されました。また、来年四月には三年に一度の介護保険制度改正があり、利用者負担の増加が予想されます。予防重視に舵が切られていますが、高齢化する地域の将来には不安の声が聞こえてきます。

当センターでは、今年五十周年を迎える兵庫県社会福祉事業団が推進する「新経営十か年計画」に基づき、サービスの質の向上、人材育成等を推進し、時代に応じたサービス提供で、今年度も、地域の将来を共に考える地域福祉の拠点としての役割を果たしていくたいと考えています。今後も更なるご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶ 平成26年度 事業計画 ◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀

I 趣旨

平成26年度は、洲本市からの第2期指定管理期間(H24年度～H26年度)最後の年となる。地域の高齢者福祉サービス拠点として根付いている洲本市五色健康福祉総合センターの複数の事業については、事業団「新経営10か年計画」の実施計画、当センターの運営理念に基づいて5年間運営を行ってきた。節目の年として、これまでの事業内容を振り返って検討するとともに、引き続い地域住民からの信頼の継続、経営の安定を図るために着実な事業を推進する。

また、平成27年度の制度改正を控え、需要が高まる福祉サービスを担うための人材確保、育成・定着を推進し、質の高いサービスの提供と働きやすい職場づくりを重点的に進めていく。

II 事業計画

1利用者本位のサービスの提供

(1) 利用者本位で質の高いサービスの提供

ア 施設機能の充実

- 拡①ユニットケアによる生活の質の向上及び生きがいづくりの推進
- ・個別ケアの充実
- ・利用者の夢を叶えるプロジェクトの実践
- ・ケアプランのマスタープラン化の推進

イ 利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供

- ①人権の擁護：虐待防止マニュアルを踏まえた虐待防止研修の実施
- ②サービス評価の実施：自己評価・相互評価、あったかサポートの推進

ウ利用者にとって安全で安心なサービスの提供

拡①リスクマネジメント体制の推進

- ・防災協定施設としての受け入れ訓練及び地域との連携による合
- 同訓練の実施・淡路ブロック事業団施設の協力体制の強化
- ・事故対応研修及び救急救命講習会の実施

②専門・認定看護師、介護福祉士等の計画的育成、資格取得の推進

③施設看護指導専門員による施設等看護機能強化事業の実施

2地域で支えあう仕組みづくり

(1) 地域包括ケアシステムへの取り組み

- ア 地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供
- ①居宅サービス事業等の実施による地域包括ケアの推進
- ②介護予防や認知症ケアなど地域支援機能の拡充
- ③ごしき地域包括支援センター等の運営：地域ネットワークづくりの先導

(2) 地域の福祉人材の育成支援

- ア 地域の福祉人材の育成
- ①研修機会等の地域へのオープン化の推進

(3) 地域に開かれた施設運営

- ア 施設機能の地域への提供
- ①福祉に関する公開セミナー・福祉教育等の実施、地元小・中学校への講師派遣実習、トライやるウィーク等の受け入れ
- ②地域交流行事等の開催
- ③施設運営協議会機能の充実・強化

3医療と福祉の連携による事業推進

(1) 医療・福祉の連携事業の実施

- ア ターミナルケア等に関する医療・福祉の連携
- 地域医療との連携によるターミナルケア(看取り)の実践
- イ 認知症に関する医療・地域ケアの先導的展開
- ①認知症高齢者地域ケアの実践：施設内ケアバスの構築
- ②認知症対応型グループホーム、認知症対応型デイサービス事業の運営

(2) 福祉に関する専門的情報の発信

- ア 情報発信機能の強化・充実
- 50周年記念に係る広報の強化
- イ 専門情報の発信
- 事業団実践・研究取り組みの推進

4人材育成と働きがいのある職場づくり

(1) 人材の確保・育成

ア 自律型組織を担う人材の育成

拡①人材の確保・定着、職員研修の効果的な実施

(2) 人事・組織マネジメントの強化

ア ガバナンスの推進

①ガバナンス計画の推進

②情報公開・情報提供による経営の公正・透明化

5経営基盤の安定・強化

(1) 経営基盤の確立

ア 堅実な経営

①経費削減大作戦の実施

②請求事務の適正化・効率化

改③指定管理事業の検証

(2) 財務管理の強化

①経営の適正化・効率化

(3) 各事業の経営目標

平成25年度 決算状況

【収入の部】 (単位:円)

勘定科目	金額
介護報酬	536,456,125
その他	11,945,468
拠点区分間賃入金収入	1,020,000
収入合計	549,421,593

平成26年度 予算状況

【収入の部】 (単位:円)

勘定科目	金額
介護報酬	550,695,000
その他	13,209,000
拠点区分間賃入金収入	0
収入合計	563,904,000

【支出の部】 (単位:円)

勘定科目	金額
人件費	350,309,004
事業費	96,969,407
事務費	53,884,444
その他	661,927
固定資産	3,205,650
拠点区分間賃入金支出	42,576,000
支出合計	547,606,432

【支出の部】 (単位:円)

勘定科目	金額
人件費	373,130,000
事業費	97,334,000
事務費	55,668,000
その他	702,000
固定資産	300,000
拠点区分間賃入金支出	36,770,000
支出合計	563,904,000

当期資金収支差額 1,815,161

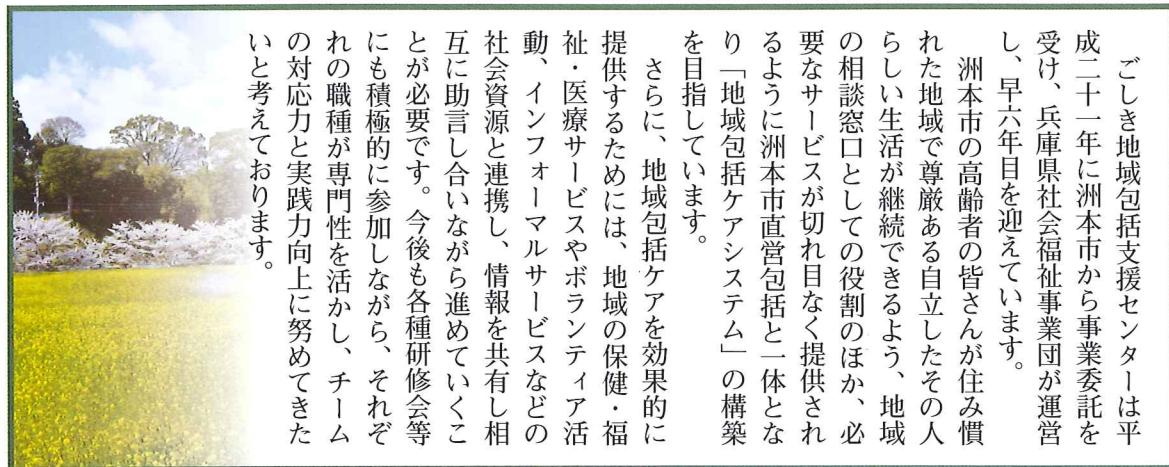
前期末支払資金残高 245,041

当期末支払資金残高 2,060,202

当期資金収支差額 0

前期末支払資金残高

当期末支払資金残高



さるびあ便り
ごしき地域包括支援センター
課長 田中ひとみ

夢を叶えるプロジェクト～私の3つの希望～

五色・サルビアホールでは、平成二十一年度から「その人らしさを蘇らすために」をテーマに、個別外出支援に特に力を入れて支援をしてきました。サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の中で、ご利用者やご家族のご希望を伺い、ケアプランに位置づけて個別支援を実践し、吉本新喜劇観賞、安芸の宮島一泊旅行、宝塚歌劇鑑賞、香川うどんツアー、四国お遍路ツアー、浜坂温泉保養莊力ニツツアー、坂本冬美コンサート、京セラドームプロ野球観戦等、実際に様々なご利用者からのご希望を実現してきました。

今年度はさらに「夢を叶えるプロジェクト」として、「私の3つの希望」をカンファレンスの際にお伺いし、もっと身近な場所への外出や、思い出の場所、懐かしい方との再会等のご希望を実現できるよう支援していきたいと思っています。

ご家族で、ご希望等がございましたら、ご遠慮なく職員までお伝え下さい。

介護支援専門員 友納



大好きな巨人戦観戦



魚とのふれあい(須磨水族館へ)



生まれ故郷の祭へ



坂本冬美コンサート



墓参り



図書館へ



大好きなカニを食べに(浜坂温泉保養莊へ)



昔、教鞭をとった小学校へ



お隣さんと再会

洲本市五色 健康福祉 総合センター 年間行事



5月 24日(土) 12:00~14:40
五色・サルビアホール家族会総会
兵庫県立淡路三原高等学校郷土部
による人形浄瑠璃の披露を予定

8月 6日(水) 地域交流納涼祭
9月 敬老祝賀会
10月 さるびあ文化祭
11月頃 地域交流セミナー

よろしく
お願ひします!!



米倉 島崎 石井 山地 黒川 白岸

▼3月31日付 五色・サルビアホール 武田 孝子(退職)	▼4月1日付 五色・サルビアホール 石井 光洋(五色精光園より)
城田 花田 佑介(五色精光園へ) 原田 庄田 英子(退職)	五色ホームヘルパーステーション 高丸 都丸 千文(退職)
五色ホームヘルパーステーション 上田 ひろいしの里(退職)	五色ホームヘルパーステーション 岩山 五色グループホーム 真紀(退職)
五色ホームヘルパーステーション 島崎 ごしき地域包括支援センター 山地 洋子(新規)	五色ホームヘルパーステーション 白岸 伊寿美(丹寿荘より) 敬司(五色精光園より)
五色ホームヘルパーステーション 山地 耕次(赤穂精華園より)	

人の動き

◎ありがとうございました

◎よろしくお願ひします



都志小学校福祉授業

洲本市五色健康福祉総合センターでは地域に開かれた施設運営の一環として、地元小学校に講師を派遣して福祉授業の一翼を担っています。

4回目となる今回は、平成26年3月6日に当施設の介護福祉士4名が都志小学校4年生のクラス(19名)を訪問しました。

講義では、福祉や支援の方法、認知症といった話をわかりやすく説明しました。また、白杖や車いすの体験をとおして、視覚障がい者や肢体不自由者の気持ちの共感的理解を図りました。児童からは「見えないのは怖かった。目が不自由な人は大変なので、見かけたら助けたい」「白杖を頼りに歩くのは、前に人がいるようで怖かった。介助役が大きな声できちんと誘導してやることが大事を感じた」などの感想が聞かれました。

この授業に先立ち、2月13日には都志小学校4年生が五色・サルビアホールを訪れ、風船バレー やじゅんけん肩たたきなどで交流を深めました。



編集後記

神戸から淡路島への通勤も、6年目に突入しました。毎朝、5時30分起きを5年間も続けてきたのかと思うと、ビックリです。異動と同時に4月上旬に産まれた娘も、もう5歳になりました。あつという間です。その分、自分も歳をとり、白髪が増え、目はかすみ。。。そんな私ですが、今年度もマイペースで仕事と家庭のワクライフバランスを意識して、充実した1年となるようがんばります!

(K.T.)

浜坂温泉保養荘

今が旬の『ホタルイカ』

温泉と
美味しい食事で
のんびり。ゆったり。



1泊2食16,300円より

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
(0796)82-3645

保養荘の詳しい案内はこちら→<http://www.hamasaka-ni.com/>